

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	年間計画に沿って身体拘束に関する勉強会を実施している。勉強会の内容は実際のケアには即しておらず、より実践的な取り組みが必要である。	身体拘束に関する具体的な事例に基づき、検討や話し合いからケアの質の向上に繋げる。	研修会や勉強会では、身体拘束に関する内容や制度等だけに留まらず、事例を通してディスカッション等の検討会を実施する。	2 ヶ月
2	7	ホーム内で行う勉強会にて虐待を取り上げ、学ぶ機会を持っている。今後の課題としては、グループホームでの事例を参考にした実践的な内容が求められる。	グループホームで実際に起こった事例や認知症の方が受けた事例を通して、虐待に関する知識を深めていく。	虐待に関する事例からユニット職員で十分な話し合いを行い、自らが提供するケアにおいてもその可能性がないか、また職員同士で注意し合える関係づくりを全体会議や勉強会を通して行っていく。	6 ヶ月
3	8	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、資料の配布や自主勉強会を実施している。実際に制度を利用している入居者がおらず、介護職員として制度に触れ合うことが少ない。	介護職員において、権利擁護に関する制度の理解を行っていく。	「市民後見人」養成課程における実習受け入れを予定している。受け入れに際して、職員と共に権利擁護に対する理解を深めていく。	3 ヶ月
4	4	運営推進会議においてご家族代表の参加が行えていない状況である。	入居者ご家族様に参加を働きかけ、運営推進会議の適正な開催を目指す。	ご家族に運営推進会議の趣旨や会議内容等を周知し、参加して頂けるよう面会等の折にお話しさせて頂く。	2 ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。